

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年 1月30日

協議会名:松戸地区ノンステップバス導入協議会

評価対象事業名:平成25年度松戸地区ノンステップバス導入事業計画

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新京成電鉄株式会社	大型ノンステップバス1両 中型ノンステップバス1両の導入	ノンステップバスの導入率の数値目標を単年度ごとに定めるものとするが、平成28年度末までにノンステップバスの割合を45%以上に拡充させることを目標とする。	A	計画通り事業は適切に実施された。	【目標】平成24年度末におけるノンステップバス導入率は39.6%であるが超高齢社会に対応するため、さらなるノンステップバスの増車を図る。 【達成状況】ノンステップバス2両が増車されたことにより、ノンステップバスの割合が41.76%となった。	今後も更なるノンステップバスの増車を図り、平成28年度末までにノンステップバスの割合を45%以上に拡充させることを目標とする。
京成バス株式会社	中型ノンステップバス1両の導入	例年予定通りノンステップバスを導入し、事業効果を達成している。	A	計画通り事業は適切に実施された。	平成25年度末には主に松戸市を運行する乗合車両のノンステップバス導入率が70.49%(61台中43台)となった。	今後更にノンステップバスの導入を進め、地域の高齢者及び車椅子利用者等がバスを利用しやすい環境を作っていく。

平成25年度 地域公共交通確保維持改善事業

地域公共交通バリア解消促進

バリアフリー化・利用環境改善事業

協議会名・補助対象事業者名

松戸地区ノンステップバス導入協議会
新京成電鉄株式会社 他1社

事業内容

ノンステップバスの導入

経緯

設備の現況

- 平成24年度末ノンステップバス導入率
新京成電鉄(株) 39.56%(36/91台)
京成バス(株) 63.63%(42/66台)
- 平成25年度末ノンステップバス導入率
新京成電鉄(株) 41.76%(38/91台)
京成バス(株) 70.49%(43/61台)

目的・必要性

平成24年度末におけるノンステップバス導入率は、松戸新京成バスが39.6%(91台中36台)、京成バス(松戸営業所)が63.6%(66台中42台)であるが、超高齢社会に対応するため、さらなるノンステップバスの増車を図り、地域の高齢者及び車椅子利用者等がバスを利用しやすい環境を整備することを目的とする。

目標・効果

目標 平成23年3月、バリアフリー新法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」が改訂され、ノンステップバス導入に係る数値目標が大幅に引き上げられたことに伴い、当地区においても、平成32年までにノンステップバス70%以上という目標の実現を目指す。

効果 乗降口に段差のないノンステップバスの運行比率をさらに増加させることにより、地域の高齢者や車椅子利用者、ベビーカー使用者等の移動円滑化が図られるとともに、バス利用者の増加に寄与する。

協議会構成員

松戸市、新京成電鉄(株)、
松戸新京成バス(株)、京成バス(株)
関東運輸局千葉運輸支局、
一般社団法人千葉県バス協会、
松戸市バス交通連絡会

事業の概要

- 大型ノンステップバス導入
新京成電鉄(株) 1両
- 中型ノンステップバス導入
新京成電鉄(株) 1両
京成バス(株) 1両